

表 感染症法上の薬剤耐性菌(5類感染症)

	疾病名	届出対象				届出方法		
		患者	死体	疑似症 <sup>1)</sup>	保菌者	定点種別	時期	内容 <sup>2)</sup>
1	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	○	—	×	全数	7日以内	A
2	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	○	—	×	全数	7日以内	A
3	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	○	○	—	×	基幹	翌月初日	B
4	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	○	—	×	基幹	翌月初日	B
5	薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	○	—	×	基幹	翌月初日	B
6	薬剤耐性緑膿菌感染症	○	○	—	×	基幹	翌月初日	B

1) 疑似症患者とは、明らかに当該感染症の症状を有しているが、病原体診断の結果が未定のものを指す。

2) 届出事項Aとしては、年齢、性別、症状、診断方法、初診年月日、診断年月日、推定感染年月日、感染原因、感染経路、感染地域。  
届出事項Bとしては、年齢、性別、疾病名、検体採取部位。